

特集

ケーブル10G時代

への挑戦!

6月に開催された「ケーブル技術ショー 2015」は各社が10Gbps対応のPON製品を展示し、さながら「10Gショー」の様相を呈していた。

ケーブルテレビへの導入も始まった。大分ケーブルテレコムは今年5月にケーブルテレビ初の10G実証試験を開始、ハートネットワークは今年11月にケーブルテレビ初の10G商用サービスを開始する予定だ。両社は10Gを自社の将来がかかった戦略サービスと位置付けている。

今回の特集では、10G対応PONの技術と標準化の基本について、山口正裕・日本CATV技術協会理事長が解説。最新製品解説では、ケーブル技術ショーで注目された住友電気工業、華為技術日本、富士通ネットワークソリューションズのOLTの特長と導入事例を詳しく紹介する。このほか今月号の表紙などにも、10G関連記事を掲載した。(渡辺 元・本誌編集部)

特集 目次

- 23 「ケーブル10G時代」を拓くPONの技術と標準化の基本
山口正裕 一般社団法人日本CATV技術協会 理事長
 - 26 製品解説① 住友電気工業
 - 28 製品解説② 華為技術日本
 - 32 製品解説③ 富士通ネットワークソリューションズ
-
- 表紙 大分ケーブルテレコムの10G導入
4 【今月の表紙】「ケーブル10G時代」を切り開く

*GE-PONまたはG-EPONという名称については、日本CATV技術協会の記事ではGE-PON、各社機器の解説記事では各社の呼称に従った。(編集部)